

“2024 第8回BMXフリースタイル選手権フラットランド GIRLS LOWクラス 年間ランキング優勝(全国1位)”

BMXをはじめてわずか3年で年間チャンピオンに輝いたのは、志木中学校1年生の増淵しずくさん。

BMXがオリンピック正式種目に採用された中、増淵さんの取り組む「フラットランド*」は正式種目とはなっていないものの、今後のオリンピック正式種目化に期待がかかっており、増淵さんは未来のオリンピック候補選手として注目されています。

※平らな場所で自転車を操作し、フィギュアスケートのように複雑な技をつないでいくスタイル



@satoshi.saijo / JFBF

BMXをはじめてきっかけは？

東京オリンピックではじめてBMXを見て、選手の姿や技がかっこいいと思ったから

BMXの好きなところは？

大会に参加する選手それぞれが「～選手のあの技がすごいな、真似したいな」という尊敬の気持ちを持っているので、競技中もほかの選手への声援を欠かさないとこ

レベルアップするために大切なことは？

どんどん新しい技に挑戦すること、挑戦した技は失敗を恐れずに絶対に本番で実践すること



▲しずくさん
Instagram

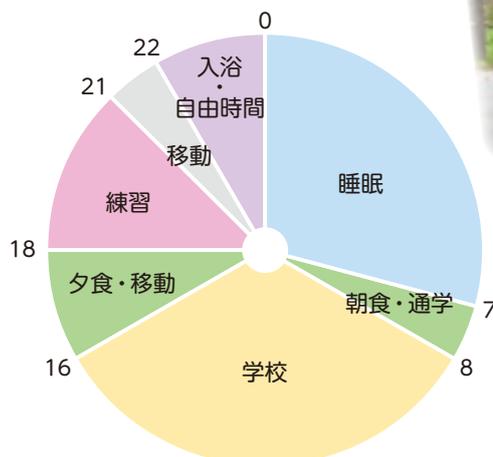
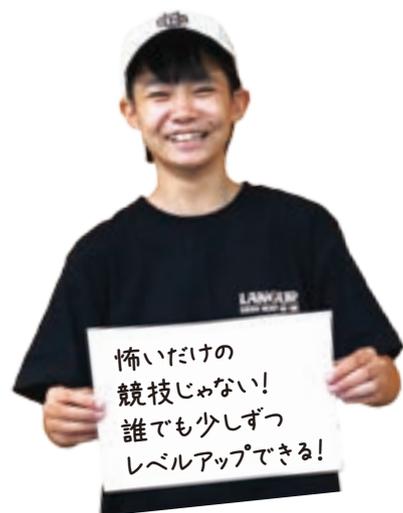


▲TYLER
(しずくさん所属先)
ホームページ

今後の目標は？

成績に関わる目標ではないけど、BMXに興味を持つ人が増えて、いろは親水公園のアーバンスポーツエリアを知ってもらい、仲間をつくっていききたい！そのためにアーバンスポーツエリアを練習場所として活用したり、自身のSNSで練習風景を発信しています

これからBMXをはじめようとしている人に一言！



▲しずくさんの平日のスケジュール

BMXに興味を持った人は
こちらをcheck!



“兄妹そろって数々の全国大会で優勝・ U-17日本代表選手として海外派遣にも招集”



フェンシング 田代圭・ゆう

志木第二中学校3年生の兄・圭さんは、2024年10月に佐賀県で行われた第78回国民スポーツ大会フェンシング競技少年男子フルーレの部において埼玉県代表チームの1人として出場し、高校生を相手に勝利するなど28年ぶりの優勝に貢献したほか、中学生ながら大会MVPを獲得しました。

一方、志木第二中学校1年生の妹・ゆうさんは、小学生の時に出場した全国小学生フェンシング選手権大会フルーレの部で3連覇し、今年の同大会・同部門(中学生)で優勝を果たしており、U-17ランキングでも2位に位置するなど、今後もさらなる活躍が期待されている兄妹です。

フェンシングをはじめたきっかけは？

- お父さんがやっているのを見て、カッコいいと思ったのと、ほかの人がやっていないような競技をやってみたかったから(圭さん)
- お兄ちゃんの姿を見て私もやってみたいと思ったから(ゆうさん)

試合前のルーティンは？

- 集中力を高めるために1人だけの空間をつくり、勝ちにこだわるのではなく、強くなることを第一に考えるよう自分に言い聞かせています(圭さん)
- 対戦する選手をよく観察し、試合に生かせるよう限られた時間の中で研究しています(ゆうさん)

忘れられない思い出は？

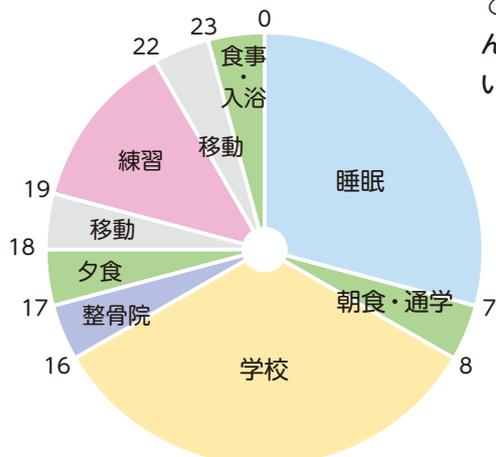
- 小学4年生で出場した全国大会で負けたことが悔しくて、その後猛練習をして2年後の全国大会で優勝した瞬間(圭さん)
- 5歳で出場した小学生低学年の部の大会でMVPを獲得したとき(ゆうさん)



◀元フルーレ日本代表コーチの和田さんによる指導

今後の目標は？

- ライバルたちを圧倒する選手になって世界を舞台に活躍する！(圭さん)
- 2025年1月にあるジュニアオリンピックで優勝して世界選手権に出場すること、いつかはお兄ちゃんといっしょにオリンピックでW金メダルを獲りたい！！(ゆうさん)



▲田代兄妹の平日のスケジュール





日本のおどり文化協会

志木支部

文化庁事業伝統文化体験教室の日本のおどりを学んだ子どもたちが、体験終了後も積極的に稽古を続け、毎年さまざまな発表会に出場するなど努力を積み重ねた結果、2024年7月に開催された「第7回おどり祭り」で披露した「越中おわら節」が見事、最優秀賞(京都市長賞)を受賞しました。この発表会では、埼玉・東京・神奈川などの首都圏31支部から70曲が披露され、志木支部は2018年の結成後、初の受賞となりました。

12月下旬に行われる次の発表会に向けて日々練習に励む子どもたち取材しました。



◀最優秀賞を受賞した皆さん(小学3~6年生)

(左上段から) 飯野 愛悟さん、辻井 美和さん、
 上原 空さん、松澤 真心さん
 (左下段から) 古志 縁さん、上原 大和さん、
 松澤 真愛さん

どんな時が楽しい? 大変?

- 夏の暑い時でも浴衣を着て踊るのは大変だけど、振り付けを覚えられた時が楽しいからもっと頑張りたくなる(松澤真心さん)
- 振り付けを覚えるのは大変だけど、皆といっしょに踊るのが楽しい(辻井さん)

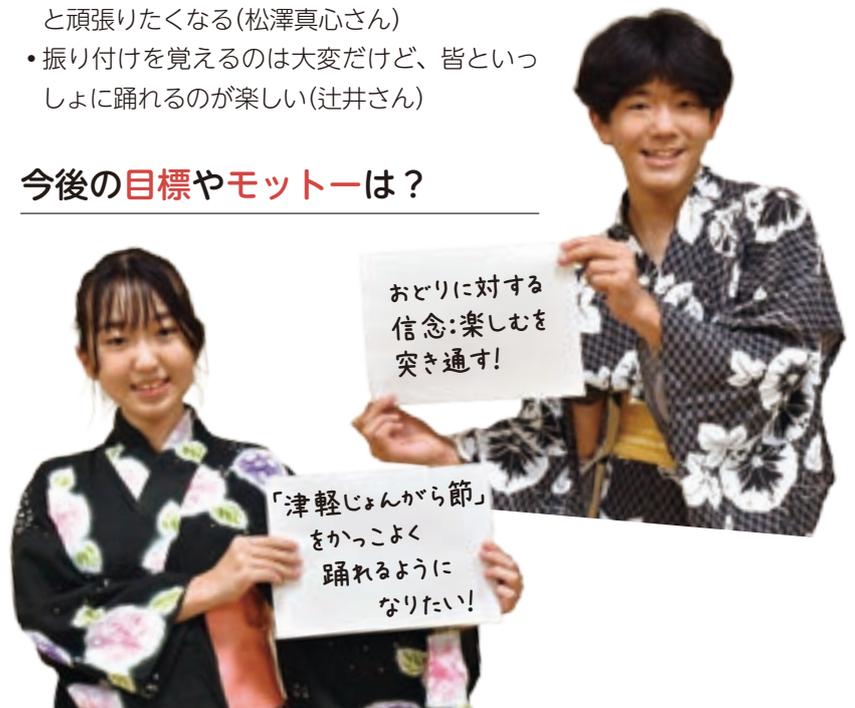
今後の目標やモットーは?

日本のおどりははじめたきっかけは?

- 学校で配られた伝統文化体験教室のお便りを見て、みんながやっていないようなことをやってみたかったから(飯野さん)
- 4歳の時に姉がやっているのを見て、楽しそうだったから(古志さん)

発表会などで緊張したときはどうしている?

- 楽しく踊ることを第一に考えながら舞台上立つと自然と気持ちが和らいでくる(飯野さん)
- ママを見て頑張ろうと思える(古志さん)
- もう慣れたので緊張しない!(辻井さん、上原空さん・大和さん、松澤真愛さん)





志木 中学校 吹奏楽部

「第29回西関東吹奏楽コンクール」での金賞受賞や11月に行われた「第48回埼玉県アンサンブルコンテスト南部地区大会」において木管八重奏で金賞を受賞し、県大会に出場するなどさまざまな大会で好成績を取っている志木中学校吹奏楽部。

10月に3年生が引退し、伝統のバトンを引き継いだ2年生を中心に、現在24人で活動しています。部長の横川芽衣子さんと副部長の高橋名月さんに部活に対するさまざまな思いを伺いました。



▲楽しそうに話をする高橋さんと横川さん

志木中学校吹奏楽部の強みは？

技術の向上の前に、まずは「あいさつ、返事、掃除」を徹底して行うことで、人としての成長を図っているところ(横川さん)

部長・副部長として意識していることは？

- コンクール前など、緊張や焦りで部活の雰囲気が悪くなってしまっているように感じたときは、積極的に話し合いの場を設け、みんなの気持ちをひとつにすることを心がけている(横川さん)
- 指示するからには、自分も周りから見られていることを意識して精一杯努力する(高橋さん)



成長したと感じることは？

- 部活の最初に、吹奏楽とは関係ない掃除をやる必要性が分からなかったけど、人間性を高めるためだと知ってからは、私生活でも掃除を心がけるようになった(横川さん)
- 以前は人前に出ることが苦手だったけど、副部長の経験が克服につながっている(高橋さん)

今後の目標は？

今後の大会での金賞受賞と、先輩たちが残してくれた伝統を守りながら、生活面でも部活面でもしっかりしていると言ってもらえるような部活を目指す！(横川さん、高橋さん)

